

平成20年1月23日
水道・交通委員会
交 通 局

市営地下鉄グリーンライン開業について

市営地下鉄グリーンライン（中山～日吉間）につきましては、平成20年3月30日（日）の始発から営業を開始します。

1 開業に向けた状況

(1) 工事の進捗

トンネルや高架橋などの土木工事、レールの敷設及び車両走行に必要な電気工事が昨年までに完了し、中山駅から日吉駅までの全線での走行試験を1月7日から開始しました。

また、駅の建築工事については、2月中の完了に向けてすすめています。

(2) 習熟運転

乗務員の技量を高めるため、3月4日から開業前日まで習熟運転を実施します。

(3) 完成検査

営業開始に先立ち、国土交通省による鉄道施設完成検査を、3月12日から19日までの土日を除いた6日間で受検します。

2 運賃等

(1) 運賃（国土交通省に認可申請中）

初乗り（営業キロ3 kmまで）は大人200円（小児100円）とし、営業キロ3 kmを超える部分については、4 km増すごとに30円を加算します。（ブルーラインと同様）

ブルーラインを含めた最長区間は湘南台駅～日吉駅間で大人530円となります。

【参考】他路線との運賃比較

・中山駅～日吉駅間 大人290円（JR横浜線と東急東横線を利用した場合：大人310円）

・センター北駅～渋谷駅間

ブルーラインと東急田園都市線を利用、グリーンラインと東急東横線を利用した場合とも大人470円

(2) 定期券

グリーンライン関係の定期券については、ブルーラインを含めた市営地下鉄全40駅で開業日の7日前（3月23日（日））から発売を予定しています。（他社との連絡定期券については開業日からの取り扱いとなります。発売時間等については調整中。）

3 運行計画

中山駅から日吉駅までの所要時間は約21分であり、中山駅からセンター北駅までを約10分、センター北駅から日吉駅までは約11分で運行します。また、運転ダイヤについては、次のとおり決定しました。

(1) 平日ダイヤ

- ・ 始発時間 : (始発) 中山駅5時08分発、日吉駅5時15分発
(終発) 中山駅24時13分発、日吉駅24時26分発
- ・ 運転本数 : (上り) 162本 (下り) 158本
- ・ 運転間隔 : (早朝) 10分
(朝ラッシュ) 4分20秒
(昼間) 7分30秒
(夕ラッシュ) 6分
(夜間~終車) 8分~18分

(2) 土休日ダイヤ

- ・ 始発時間 : (始発) 中山駅5時08分発、日吉駅5時15分発
(終発) 中山駅24時00分発、日吉駅24時12分発
- ・ 運転本数 : (上り) 136本 (下り) 134本
- ・ 運転間隔 : (早朝) 12分
(昼間) 7分30秒
(夜間~終車) 10分~14分

4 増収対策

(1) グリーンライン沿線会議

「沿線会議」を通じて、沿線の魅力やイベントについて情報発信し、地域の方々と協働で、地域の活性化とお客様の増加に結びつけていきます。第1回目の会議では、地域と交通局の連携方法について、第2回目の会議では、開業に向け、沿線の魅力を紹介する「沿線マップ」、「イベントカレンダー」について、地域の方々と検討しました。また、ズーラシアとも提携策を協議しています。

(2) 広告事業

グリーンラインの広告については、新線としての広告価値を最大限に活かすため、官民協働の制度を創設し、広告会社からの提案を募り、それを審査し、民間のノウハウを活用することにより販売強化を図ります。

(3) グリーンラインご利用に向けたキャンペーン

より多くのお客様にグリーンラインを通勤の足としてご利用いただけるよう、PASMOによる定期券利用をポイント化し、一定のポイントを取得したお客様に景品を差し上げるキャンペーンを実施することを検討しています。

5 全席優先席

人に優しい市営地下鉄を目指してブルーライン同様全席優先席を導入します。昨年11月に行った全席優先席に関するアンケート調査の結果等を踏まえ、制度の理解浸透・定着のための新たな取組を検討します。

【参考】アンケート結果 : 応募総数881人、賛成406人(46%)、反対475人(54%)

6 バス路線再編

グリーンライン開業に伴うバス路線の再編成については、平成19年11月21日に「都筑区連合町内会長会」へ説明を行いました。また、平成20年2月中には、バスターミナルへの看板設置、バス停及びバス車内へのポスター掲出、ホームページなどにより、バス利用者へ周知します。

なお、一部区間の廃止に伴い乗り換えによる運賃負担増の解消を図るため、市営バスから市営バスへの乗り継ぎ運賃制度を実施します。